

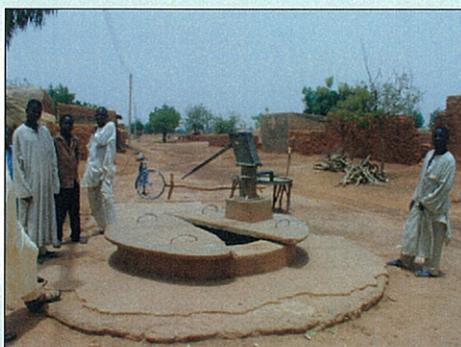
## 現地状況写真集 (1/8)

### Minjibir 郡 Goda 村



この村の人口は 2500 程度であるが、井戸は一本もなく池の水を生活用水に使用している。池の水は黄褐色に濁っており、ギニアウオーム等水因性疾病の危険が極めて高い。この村では過去に浅井戸や深井戸を何本か試掘したが全て失敗した。乾季には池が枯れるため、村人は池底を掘り返し、水を得ている。

### Minjibir 郡 Kazaka 村



<手掘り浅井戸に設置されたハンドポンプ>  
ハンドポンプ付きの浅井戸は井戸口を蓋で覆うことができるため、井戸口が露出した浅井戸よりは衛生的である。しかし、このハンドポンプは現在故障中であり、この村では維持管理組織が機能していない。

### Minjibir 郡 Garile 村

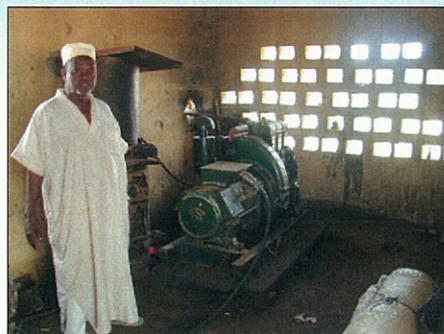


<ソーラーパネルによる動力ポンプ付きの井戸>

高架水槽と傍らの公共水栓には 6 つの蛇口が付いている。1992 年の州政府による建設後に地方政府へ移管されているが、現在まで殆ど故障したことがない。同施設は、地方政府が運営・維持管理しており住民は料金を支払っていない。1km 以上の遠方から水汲みに訪れる住民が多く、家畜の水飲み場も併設されている。

## 現地状況写真集 (2/8)

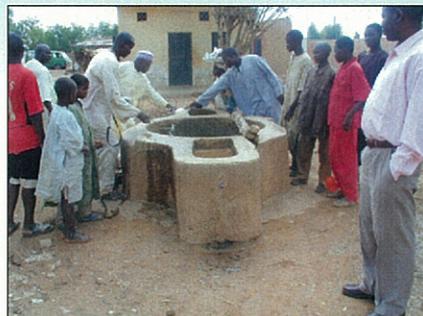
### Gabasaka 郡 Gabasaka 村



#### <村の地方給水施設>

2本の井戸から動力ポンプで揚水し、容量 500m<sup>3</sup>の高架水槽に送水し周囲 10km の地域の各家庭と共同水栓に給水している。同施設は、地方が運営・維持管理を行っている。住民は、定額の水道料金を支払っている。訪問時には発電機の故障のため給水停止中であった。このような場合、住民は不衛生な浅井戸水や溜まり水を使用せざるを得ない。

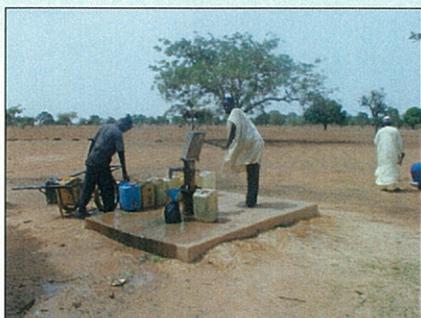
### Gezawa 郡 Tsamiyar 村



#### <村の手掘り浅井戸>

深さ 20m、直径 1.3m、地下水位 GL-18m。20 年以上前に地方の資金で建設され 200 人程度で使用している。井戸水はバケツで汲み上げているが、井戸口が露出しており異物混入の危険がある。また井戸周辺には生活排水が溜まっており、水質汚染の危険性がある。

### Gezawa 郡 Tsamiyar 村



#### <ハンドポンプ付き深井戸給水施設>

1989年に完成した。深さ 61m、スクリーン深度 GL-34~57m の井戸である。水を汲んでいるのは、水売人で 50 リットルを 15 ナイラ(約 14 円)で売っている。ポンプはインディアンマーク II で、ケーシングは PVC を使用している。揚水管は、GI 管を使用している。深井戸の基礎スラブには井戸番号を示しており、井戸台帳と対比可能であるようになっている。